

2022



ACT JAPAN

年次ミーティング

論より証拠！データと語ろうACTの実践と研究

< 第3号通信 >

2023年3月 配信

◆ 大会概要 ◆

大会テーマ

論より証拠！データと語ろうACTの実践と研究

日時・開催方法

日時：

2023年3月18日（土）・19日（日）

開催方法：

ハイブリット開催（対面/オンライン）

◇会場 [対面] = 早稲田大学

早稲田キャンパス14号館

（東京都新宿区西早稲田1-6）

◆オンライン = Zoom ウェビナー

参加費

| | |
|------------|--------|
| 会員（会場：対面） | 無料 |
| 会員（オンライン） | 無料 |
| 非会員（会場：対面） | 4,000円 |
| 非会員（オンライン） | 4,000円 |
| 学生（会場：対面） | 無料 |
| 学生（オンライン） | 無料 |

※全員申し込みは必要になります

※会員区分でのお申し込みには、今年度の学会年会費の納入が必要です

会場 [対面] へのアクセス



<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

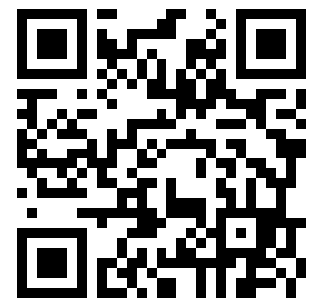
- ・ J R 山手線 高田馬場駅から徒歩20分
- ・ 西武鉄道 西武新宿線 高田馬場駅から徒歩20分
- ・ 東京メトロ 東西線 早稲田駅から徒歩5分
- ・ 東京メトロ 副都心線 西早稲田駅から徒歩17分
- ・ 都バス 学02（学バス） 高田馬場駅 - 早大正門
- ・ 東京さくらトラム（都電 荒川線） 早稲田駅から徒歩5分

参加申込

■ Peatixよりweb申込をお願いします
<https://actjapan-mtg2022.peatix.com>



※ 参加申込はこちらから



※ 必ず事前に Peatix より
お申し込みください

◆ プログラム (プレ & 1日目) ◆

| 9:30 | 10:00 | 10:30 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 |
|-----------|------------|--|--|---|-------|-------|---|---|-------|--------------------------------------|
| 1日目: 3/18 | 第1会場 (501) | オープニング | <初級者向けワークショップ> ACTを使ってみよう! 講師: 茂本由紀 (武庫川女子大学) 津田菜摘 (同志社大学) | | 12:00 | 13:00 | <教育講演①> うまくデータを取るための理想の原理—ベテラン研究者から現場の実践家まで— 講師: 土屋政雄 (株式会社アドバンテッジリスクマネジメント) | <大会企画シンポジウム> データと語ろうCBSの実践と研究: 現場での実践研究の最前線 <話題提供者> ・酒井美枝 (名古屋市立大学) ・朝田文記 (株式会社スタートライン) ・大月 友 (早稲田大学) <指定討論者> ・三田村仰 (立命館大学) | 17:00 | <ポスター発表> 【対面】 |
| | 第2会場 (604) | | <中級・上級者向けワークショップ【対面】> みんなで読もう「CBS研究・白書(2021)」: 今後の研究・実践のアイデアを考える 講師: 武藤 崇 (同志社大学) | | | | | | | |
| 2日目: 3/19 | 第1会場 (501) | 総会 | <教育講演②> 行動分析学、関係フレーム理論、ACT、そしてPBT—進化学とCBSの再会— 講師: 谷 晋二 (立命館大学) | | 12:00 | 13:00 | <自主企画シンポジウム> 質的心理学と文脈的行動科学 <話題提供者> ・瀬平剛アンドン (九州大学) ・火ノ口史野 (九州大学) ・本田陽彦 (九州大学) <指定討論者> ・久留宮由貴江 (The Chicago School of Professional Psychology) | <事例検討【対面】> 発表者: 高橋まどか (久喜すずのき病院) コメンテーター: 瀬口薫史 (西知多こころのクリニック) | 17:00 | 18:00 |
| | | <口頭発表①> 小笠大進 (学校法人立命館) | <口頭発表②> 佐藤ちひろ (立命館大学大学院) | <口頭発表③> 杉浦久美子 (久里浜医療センター) | | | | | | |

…ハイブリッド開催プログラム

…対面(会場)限定プログラム

■ プレカンファレンス

<特別講演【オンデマンド配信】>

CBS研究白書(2021)徹底解説! 講師: 武藤 崇 (同志社大学)

■ 1日目 2023年3月18日(土)

- 9:45~ 開場・受付開始
- 10:15~10:25 <オープニング(趣旨説明)【ハイブリッド】>
挨拶: ACT Japan年次ミーティング2022開催責任者 大月 友 (早稲田大学)
- 10:30~12:30 <中・上級者向けワークショップ【対面限定@第2会場】>
みんなが読もう「CBS研究白書(2021)」: 今後の研究・実践のアイデアを考える
講師: 武藤 崇 (同志社大学)
※中・上級者向けワークショップは事前登録制です。
※特別講演「CBS研究白書(2021)徹底解説!」をご視聴の上ご参加ください。
- <初級者向けワークショップ【ハイブリッド@第1会場/オンライン】>
ACTを使ってみよう!
講師: 茂本由紀(武庫川女子大学)・津田菜摘(同志社大学)
- 12:30~13:30 休憩
- 13:30~14:30 <教育講演【ハイブリッド@第1会場/オンライン】>
うまくデータを取るための理想の原理: ベテラン研究者から現場の実践家まで
講師: 土屋政雄 (株)アドバンテッジリスクマネジメント
- 14:45~16:15 <大会企画シンポジウム【ハイブリッド@第1会場/オンライン】>
データと語ろうCBSの実践と研究: 現場での実践研究の最前線
話題提供: 酒井美枝 (名古屋市立大学)、朝田文記 (株式会社スタートライン)、
大月 友 (早稲田大学)
指定討論: 三田村仰 (立命館大学)
- 16:30~17:30 <ポスター発表【対面限定】>
学術発表: 光定博生 (国家公務員共済組合連合会横須賀共済病院)、三田村仰 (立命館大学)、
谷 千聖 (立命館大学大学院)、岩村 賢 (株式会社スタートライン)
情報交換: 大島康寛 (立命館大学大学院)、豊崎美樹 (株式会社スタートライン)、
高津弘明 (就労移行支援 るりはり大宮)、伊藤雅隆 (びわこ学院大学)、
齋藤順一 (広島大学病院)

※筆頭発表者のみ掲載

◆ プログラム (2日目) ◆

| | 9:30 | 10:00 | 10:30 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | 16:00 | 17:00 | 18:00 |
|-----------|------------|-------|---|---|---|-------|---|--|---|---------------------------|-------|
| 1日目: 3/18 | 第1会場 (501) | | オープニング | <初級者向けワークショップ> ACTを使ってみよう! 講師: 茂本由紀 (武庫川女子大学) 津田菜摘 (同志社大学) | | | | | | | |
| | 第2会場 (604) | | オープニング | <中級・上級者向けワークショップ【対面】> みんなで読もう「CBS研究・白書(2021)」: 今後の研究・実践のアイデアを考える 講師: 武藤 崇 (同志社大学) | | | | | | | |
| 2日目: 3/19 | 第1会場 (501) | 総会 | <教育講演②> 行動分析学、関係フレーム理論、ACT、そしてPBT—進化学とCBSの再会— 講師: 谷 晋二 (立命館大学) | | <自主企画シンポジウム> 質的心理学と文脈的行動科学 <話題提供者> ・瀬平劉アントン (九州大学) ・火ノ口史野 (九州大学) ・本田陽彦 (九州大学) <指定討論者> ・久留宮由貴江 (The Chicago School of Professional Psychology) | | | | | | |
| | | | | | | | <教育講演①> うまくデータを取るための理想の原理—ベテラン研究者から現場の実践家まで— 講師: 土屋政雄 (株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント) | <大会企画シンポジウム> データと語るCBSの実践と研究: 現場での実践研究の最前線 <話題提供者> ・酒井美枝 (名古屋市立大学) ・朝田文記 (株式会社スタートライン) ・大月 友 (早稲田大学) <指定討論者> ・三田村仰 (立命館大学) | | | |
| | | | | | | | <口頭発表①> 小笹大道 (学校法人立命館) | <口頭発表②> 佐野ちひろ (立命館大学大学院) | <口頭発表③> 杉浦久美子 (久里浜医療センター) | <オンライン閉会> | |
| | | | | | | | | <事例検討【対面】> 発表者: 高橋まどか (久喜すずのき病院) コメンテーター: 瀬口篤史 (西知多こころのクリニック) | | <ポスター発表【対面】> | |

…ハイブリッド開催プログラム

…対面(会場)限定プログラム

■ 2日目 2023年3月19日(日)

- 9:30~10:00 <総会【ハイブリッド@第1会場/オンライン】>
 司会: ACT Japan理事長 大月 友 (早稲田大学)
- 10:00~11:00 <教育講演【ハイブリッド@第1会場/オンライン】>
 行動分析学、関係フレーム理論、ACT、そして、PBT:進化学とCBSの再会
 講師: 谷 晋二 (立命館大学)
- 11:15~12:45 <自主企画シンポジウム【ハイブリッド@第1会場/オンライン】>
 質的心理学と文脈的行動科学
 話題提供: 瀬平劉アントン (九州大学)、火ノ口史野 (九州大学)、本田陽彦 (九州大学)
 指定討論: 久留宮由貴江 (The Chicago School of Professional Psychology)
- 12:45~13:30 休憩
- 13:30~14:30 <口頭発表【ハイブリッド@第1会場/オンライン】>
 司会: 井上和哉 (早稲田大学)
- 保護者の心理的柔軟性を向上させる心理教育プログラムの効果の検討
 —ACT-Matrixを使った心理教育プログラムの効果と子どもへの波及効果に関する研究—
 発表者: 小笹大道 (学校法人立命館/立命館大学大学院)
 - 障がいのある子どものきょうだい支援
 ~ACTで心理的柔軟性を高め、価値に基づく生活を選択可能となるかの検討~
 発表者: 佐野ちひろ (立命館大学大学院)
 - リカバリーを目指した精神病圏の患者に対するアクセプタンスアンドコミットメントセラピーの有効性について 予備的研究
 発表者: 杉浦久美子 (独) 国立病院機構 久里浜医療センター)
- 14:30~14:35 <オンライン閉会【ハイブリッド@第1会場/オンライン】>
- 14:45~15:45 <事例検討【対面限定@第1会場】>
 強迫性障害の患者へ対しアクセプタンス&コミットメント・セラピー(ACT)で介入し長期のフォローアップを実施した症例
 発表者: 高橋まどか (久喜すずのき病院)
 コメンテーター: 瀬口篤史 (西知多こころのクリニック)
- 15:45~16:00 <閉会【対面限定@第1会場】>
 ACT Japan年次ミーティング2022運営事務局STAFF

◆ワークショップ・教育講演の概要◆

中級・上級者向けワークショップ（3/18 Sat 10:30-12:30【対面】）

みんなで読もう「CBS研究・白書（2021）」

：今後の研究・実践のアイデアを考える

講師：

武藤 崇（同志社大学）

概要：

文脈的行動科学会の「CBS研究に関する戦略と戦術」検討委員会による「白書」（Hayes et al., 2021）が、2021年3月（約1年前）に周知されました。そして、その内容が、学会誌であるJCBSのオープン・アクセス論文として掲載されました。つまり、ACT、RFT、Prosocialの研究や実践を本格的になさっている方には「必読論文」です。

そこで、本WS（中級・上級者向け）では、この論文を逐次参照しながら、参加者間でその内容を討論し、今後の日本における研究・実践のアイデアの「種（シーズ）」を考えることを目的とします。

特に、英語に苦手意識のある方が参加されることを期待しております。

※本ワークショップは事前登録制です。

※事前にプレカンファレンス特別講演「CBS研究白書（2021）徹底解説！」をご視聴の上ご参加ください。

【文献】

Hayes et al. (2021). Report of the ACBS Task Force on the strategies and tactics of contextual behavioral science research. *Journal of Contextual Behavioral Science*, 20, 172-183.

<https://doi.org/10.1016/j.jcbs.2021.03.007>

初級者向けワークショップ（3/18 Sat 10:30-12:30【ハイブリッド】）

ACTを使ってみよう！

講師：

茂本由紀（武庫川女子大学） 津田菜摘（同志社大学）

概要：

本ワークショップは、初心者の方がACTを体験的に学ぶワークショップです。本ワークショップでは、①ACTの概要を理解する、②メタファーやエクササイズを体験する、③自分自身に対してACTを適用するという3つの目標の達成を目指します。

①ACTの概要を理解するでは、ACTの中核となる概念について、例や簡単なワークを通して、理解してもらいます。また、ACTの6つのコア・プロセスについても簡単な講義を行います。

②メタファーやエクササイズを体験するでは、①で学習した内容をもとに、実際にメタファーやエクササイズを体験いただき、体験的に理解するとはどういうものかを学びます。

③自分自身に対してACTを適用するでは、クライアントに対し、ACTを使用する前に、まずは自身に対してACTを適用できるようになることを目指します。ワークショップ終了以降に自身に対してACTを適用してもらえるよう、ワークショップの最後に準備を行います。

教育講演① (3/18 Sat 13:30-14:30 【ハイブリッド】)

うまくデータを取るための理想の原理

ーベテラン研究者から現場の実践家までー

講師：

土屋政雄（株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント）

概要：

本講演では、実践家および研究者が日々の活動においてデータを取り、報告する際に役立つ基本的な進め方の情報提供を行う。講演のターゲットとして、ACTを活用し始めたばかりの実践家から、ACTに関する研究歴の長い研究者までを幅広く想定する。主にシングルケースデザインの観点から、データを取り効果検証をする際の初学者向けの解説が中心とはなるが、ACTの実践と研究は常に文脈的行動科学（CBS）の流れの中にあることを意識することが求められるため、現時点においてCBSコミュニティが目指すデータ取得の最高の理想形（例：Hayes et al., 2021）とは何かを踏まえた上で解説を行う。加えてシングルケースデザイン自体に求められる報告ガイドライン（SCRIBE: Tate et al., 2016）等も参照しながら、より望ましいデータの取り方やまとめ方を解説し、多様な聴衆における知識のアップデートを目指す。

教育講演② (3/19 Sun 10:00-11:00 【ハイブリッド】)

行動分析学、関係フレーム理論、ACT、そしてPBTー進化学とCBSの再会ー

講師：

谷 晋二（立命館大学）

概要：

文脈的行動主義という哲学にルーツを持つ認知行動療法には、CFTや臨床行動分析、ABA、FAPなどがあり、文脈的行動科学（CBS）としてまとめられてきました。プロセスベースド・セラピー（PBT）は、CBSの専門家だけでなく、その他の行動的な心理療法の専門家や異なる領域の専門家のコンシリエンスを高めようという目的で作られた新しいモデルとして登場しました。この講演では、動物の基本的な行動の原理、人にユニークな行動の原理、それを臨床的に用いていくときの課題、そしてPBTのアイデア、特に進化学的な視点について、整理していきます。スキナーは、人の行動が生存的随伴性、オペラント随伴性、文化・社会的随伴性の3つの随伴性のモザイクで出来上がっていると分析しています。あるクライアントの行動を考えると、3つの随伴性が複雑に関連しあっています。そのダイナミックな関連性を描くモデルとして、PBTは古くて新しい視点を我々に提供してくれています。

*ハイブリッドプログラムはオンラインでも参加できますが、対面プログラムは会場での参加が必要になります。

参加申込

■ Peatixよりweb申込をお願いします
<https://actjapan-mtg2022.peatix.com>



※参加申込はこちらから

2022



ACT JAPAN

STAFF

| | |
|-------|--|
| 事務局長 | 井上和哉（早稲田大学） |
| 準備委員 | 岩澤直子（早稲田大学大学院） 小口真奈（早稲田大学大学院） 姜 来娜（早稲田大学大学院） |
| 開催責任者 | 大月 友（早稲田大学） |

お問合せ：ACT JAPAN年次ミーティング2022運営事務局

actjapan2022meeting@gmail.com